

三菱電機ナビゲーションシステム
MZ60・80・90・100・200・50N・40 対応
ステアリングリモコンキット
スバル車用

取り付け解説書



安全に正しくお使いいただくために

- 取り付け作業の前にこの「取り付け解説書」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
- この「取り付け解説書」の表示では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示をしています。その表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本製品は DC12V 車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの DC24V 車では使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス端子を外してください。ショートによる事故の原因となります。
- 車両に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、電気配線、タンク、ワイヤーなどの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意しておこなってください。パイプ類などの損傷により、火災や事故の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、制御不能や発火、事故の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグの動作を妨げる位置には絶対に本製品を取り付けたり配線をしないでください。エアバッグの動作を妨げる位置に取り付け・配線をすると、万一のとき、事故やケガの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となります。
- 本製品を分解したり改造したりしないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 正常に動作しない状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変なにおいがするなどの異常がおきた場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因となります。
- ドリルなどで穴あけ作業をする場合は、ゴーグルなどの目を保護するものを使用してください。破片などが目に入ったりしてケガや失明の原因となります。
- 接続コード類の配線は高温部を避けて行ってください。コード類の被服が溶けてショートし、事故・火災・感電の原因となります。特にエンジンルーム内での配線には注意してください。



注意

- 車両のネジを使用して本製品の取り付けやアースをとる場合は、ネジがゆるまないように確実に締めつけてください。ネジがゆるみ、事故や故障の原因となります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこり、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本製品に水やほこり、油煙が入り込みますと、発煙や発火、故障の原因となります。
- 直射日光や、ヒーターの熱風があたる場所などへの取り付けは避けてください。本製品の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。
- 取り付け解説書に記載された通りに配線を接続してください。正規の接続を行わないと、火災や故障の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付けるときは、車両メーカーに作業場の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動し、ケガや事故の原因となります。
- 車両のネジ部分やシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や火災、感電の原因となります。

もくじ

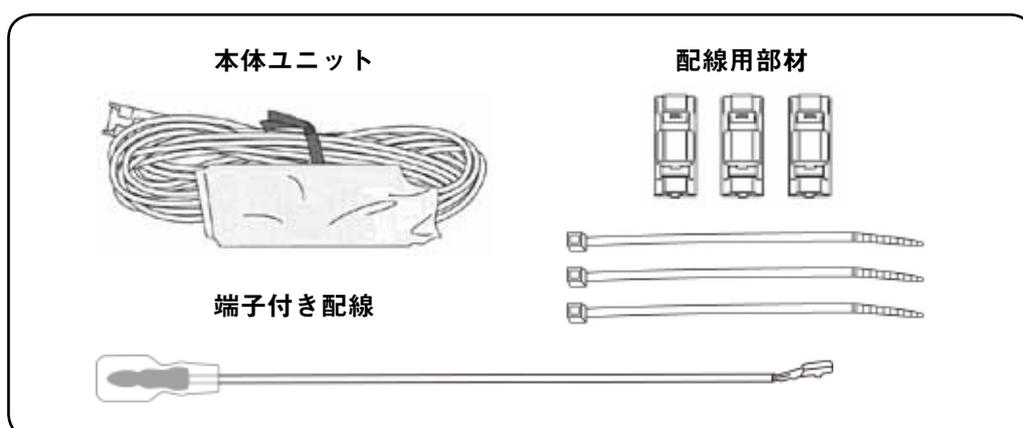
はじめに	4
梱包内容	4
各配線の説明	4
動作について	5
取り付けできる車両、カーナビ	5
取り付けに関する注意事項	5
スバル車用の取り付け方法	6
8 極カプラと 14 極カプラを採用している車種への接続	8
14 極カプラのみで LAN ユニットが介在していない車種への接続	9
14 極カプラと 24 極カプラを採用している車種への接続	10
14 極カプラのみで LAN ユニットが介在している車種への接続	11
20 極カプラを採用している車種への接続	12
20 極カプラと 6 極カプラを採用している車種への接続	13
2010.7 ~のインプレッサについて（形式 GVB/GVF）	14
カーナビ側への配線の接続	
ダイアトーンナビ以外の場合	16
ダイアトーンナビの場合	17
設置後の確認	18
本体 LED の点滅について	18
初期設定を行う	19
トラブルシューティング	23

はじめに

このたびは当社製品を御買い上げ頂きまことにありがとうございました。製品は全機能をテストした後に出荷させて頂いておりますが、万一不良品でありました場合は速やかに代替品と交換させていただきますので、ご購入いただきました販売店へご連絡ください。但し、お客様の過失による破損と判断した場合は修理費と送料を頂戴することがありますのでご了承願います。なお、製品保証については保証書に記載の内容となります

梱包内容

1. 本体ユニット	1 台
2. 端子付き配線	1 本
3. 配線用部材 (ワンタッチコネクタなど)	数個 (製品により異なります)
4. 取り付け解説書 (本解説書)	1 部
5. 保証書 (取り付け解説書に記載)	1 部



各配線の説明

ユニット本体からは7本の配線が出ています。使用している電線はAWG22 (約0.33SQ相当) ですので、添付品以外のワンタッチコネクタや配線接続用部材を使用する場合は適合電線をよくご確認ください。

黒	(-) GND (車両アース)
赤	(+) +12V アクセサリー電源
茶 / 白	(+) ステアリングスイッチ入力1
茶 / 黄	(+) ステアリングスイッチ入力2 (未使用の場合があります)
茶 / 黒	(-) ステアリングスイッチ GND 出力
水	(-) カーナビ用コントロール出力

スバル車用の取り付け方法

ユニットの配線はオーディオカプラーの配線へ接続します。車種／年式によりコネクタの極数及び接続先のピン位置が異なります。良く確認の上、接続を行ってください。

※ステアリングスイッチを後付した場合は配線がありませんので、対応不可となります（一部車種を除く）。

※ステアリングスイッチ SW1、SW2 及びステアリングスイッチ GND が他の機器（カーオーディオ／カーナビ等）に接続されている場合は本ユニットを接続しないでください。

■ 8極と14極の2つのオーディオカプラーを採用している車種の場合

8極と14極の2つのカプラーがある場合は、配線接続はオーディオ裏のみで完了します。

8極と14極カプラーを採用している車種

2006.5 ~ 2009.5	BP・BL 型レガシィ・B4・アウトバック ※除くマッキントッシュオーディオ仕様
2008.6 ~ 2010.8	YA 型エクシーガ ※一部グレード

■ 14極のオーディオカプラーは存在するが、8極のカプラーが無い場合

8極カプラーが無い場合は、LAN ユニットというユニットがステアリングスイッチとオーディオカプラーの間に介在している場合と、14極カプラーに統合されている場合があります。

14極カプラーのみで、LAN ユニットが介在している車種

2006.5 以前	BP・BL 型レガシィ・B4・アウトバック
-----------	-----------------------

14極カプラーのみで、LAN ユニットが介在していない車種

2006.5 ~ 2009.5	BP・BL 型レガシィ・B4・アウトバックのマッキントッシュオーディオ仕様
-----------------	---------------------------------------

14極カプラーと24極カプラーが存在する車種（8極カプラーは無い）

2006.5 ~ 2009.5	BP・BL 型レガシィ・B4・アウトバック、GH 型インプレッサ純正ナビ付き車の一部
-----------------	--

次ページに続く

スバル車用の取り付け方法（続き）

※ステアリングスイッチを後付した場合は配線がありませんので、対応不可となります（一部車種を除く）。

※ステアリングスイッチ SW1、SW2 及びステアリングスイッチ GND が他の機器（カーオーディオ／カーナビ等）に接続されている場合は本ユニットを接続しないでください。

■ 20極のオーディオカプラを採用している車種

20極のオーディオカプラ採用車は、オーディオ裏のみでの接続作業となります。

20極のカプラを採用している車種

2007. 6 ~ 2010.6	GH 型インプレッサ
2007.12 ~ 2010.10	SH 型フォレスター
2008. 6 ~ 2010.8	YA 型エクシーガ ※ 一部グレード
2009. 5 ~ 2014.10	BR・BM 型レガシィ・B4・アウトバック
2011.12 ~ 2016.10	GP・GJ 型インプレッサ SPORT・G4
2012.10 ~ 2017.4	GP 型 XV・XV HYBRID
2012.11 ~ 現行	SJ 型フォレスター
2014. 6 ~ 現行	VM 型レヴォーグ
2014. 8 ~ 現行	VA 型 WRX S4・STI
2014.10 ~ 現行	BN・BS 型レガシィ B4・アウトバック
2016.10 ~ 現行	GT・GK 型インプレッサ SPORT・G4
2017.4 ~ 現行	GT 型 XV

■ 20極カプラと6極カプラを採用している車種

20極のオーディオカプラがあり、3線式のステアリングスイッチを採用している下記の車種はオーディオ裏のみでの接続作業となります。

20極カプラと6極カプラを採用している車種

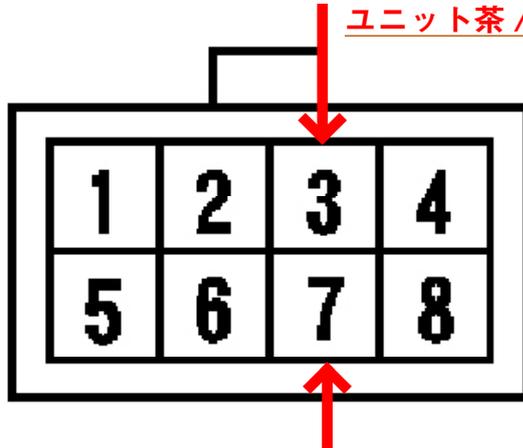
2010. 6 ~ 2011.12	GH 型インプレッサ
2010. 7 ~ 2014.8	GVB/GVF 型インプレッサ WRX STI
2010. 8 ~ 現行	YA 型エクシーガ ※ 一部グレード
2010.10 ~ 2012.11	SH 型フォレスター

8極と14極カプラを採用している車種への接続

※ステアリングスイッチ SW1 及びステアリングスイッチ GND が他の機器（カーオーディオ／カーナビ等）に接続されている場合は本ユニットを接続しないでください。

8極コネクタ

ステアリングスイッチ GND

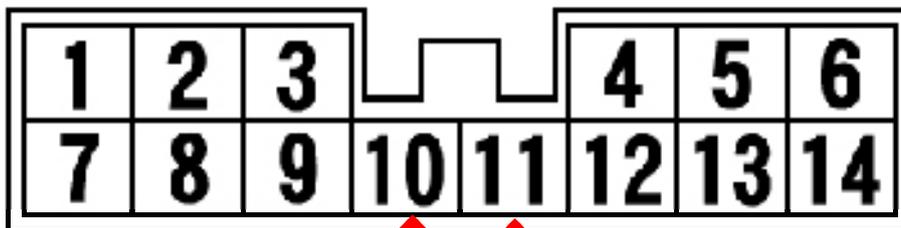


※ 8極コネクタは複数
ある場合があります
(小さいコネクタです)

ステアリングスイッチ SW1

ユニット茶 / 白を接続

14極コネクタ



車両アース ユニット黒を接続

+12V アクセサリー (ACC) 電源 ユニット赤を接続

※本ユニットの茶 / 黄は未使用としてください

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黒	⇒	ステアリングスイッチ GND

14極カプラのみでLANユニットが介在していない車種への接続

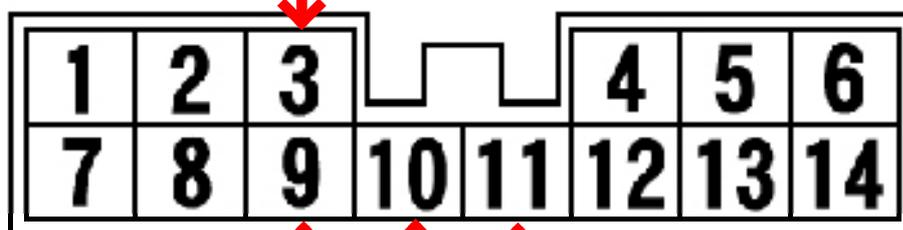
※マッキントッシュオーディオシステム搭載車で採用

※ステアリングスイッチ SW1 及びステアリングスイッチ GND が他の機器（カーオーディオ／カーナビ等）に接続されている場合は本ユニットを接続しないでください。

14 極コネクタ

ステアリングスイッチ GND

ユニット茶 / 黒を接続



ステアリング
スイッチ SW1

ユニット茶 / 白を接続

車両アース

ユニット黒を接続

+12V アクセサリー (ACC) 電源

ユニット赤を接続

※本ユニットの茶 / 黄は未使用としてください

※ ACC 電源ピンを基準にして接続先のピン位置を判断してください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

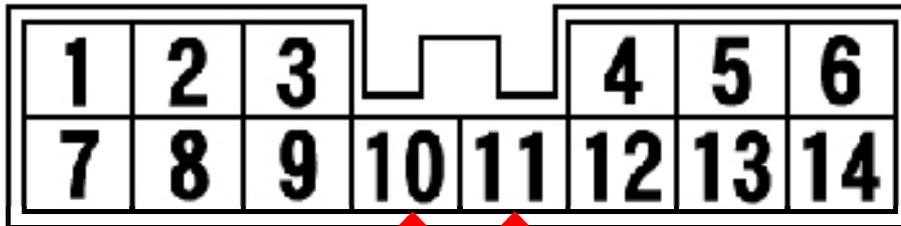
ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黒	⇒	ステアリングスイッチ GND

14極カプラと24極カプラを採用している車種への接続

※純正ナビ付き車の一部で採用

※ステアリングスイッチ SW1 及びステアリングスイッチ GND が他の機器（カーオーディオ／カーナビ等）に接続されている場合は本ユニットを接続しないでください。

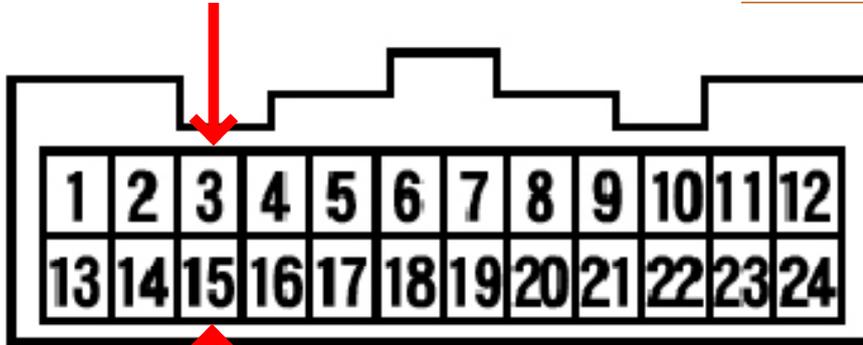
14 極コネクタ



車両アース ユニット黒を接続
+12V アクセサリー（ACC）電源 ユニット赤を接続

24 極コネクタ

ステアリングスイッチ GND ユニット茶 / 黒を接続



ステアリングスイッチ SW1 ユニット茶 / 白を接続

※本ユニットの茶 / 黄は未使用としてください

MEMO

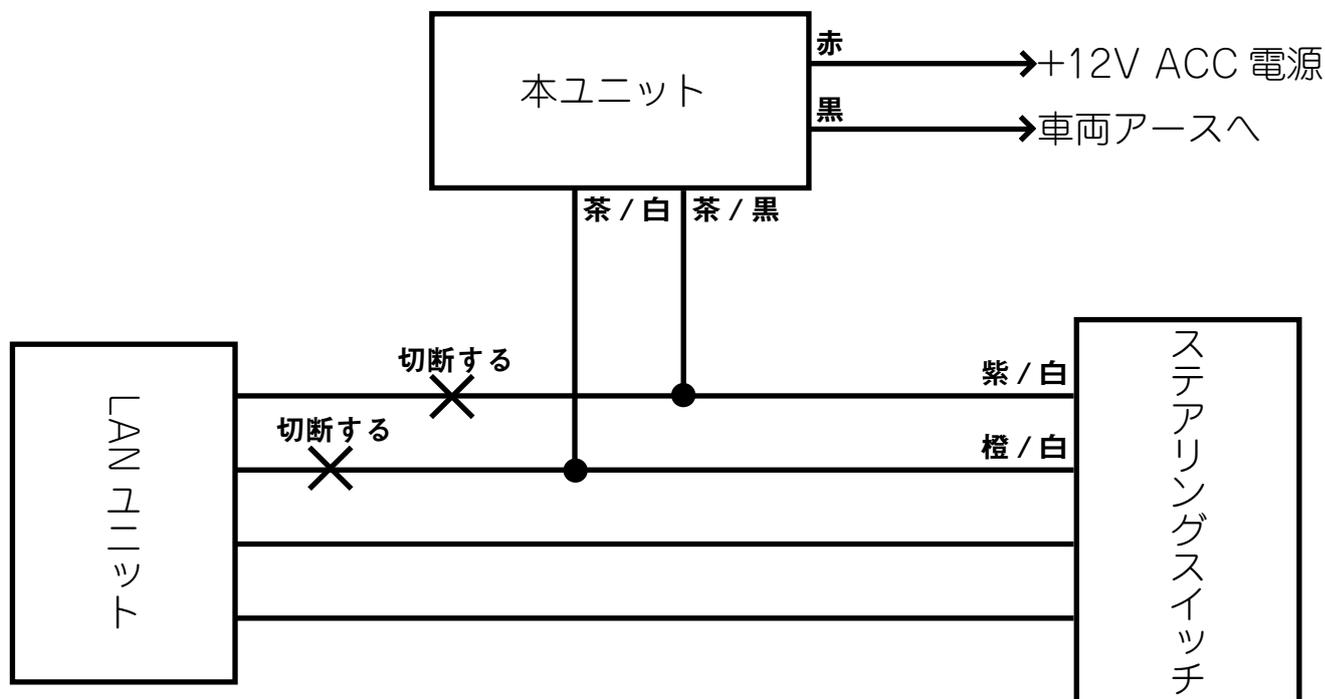
本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー（ACC）電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黒	⇒	ステアリングスイッチ GND

1 4極カプラのみでLANユニットが介在している車種への接続

※ 2006.5 以前の C 型レガシィ、レガシィアウトバックへの接続について

C 型レガシィ／レガシィアウトバックは、本ユニットの配線 LAN ユニット部又は、ステアリングスイッチへ直接接続してください。



※本ユニットの茶 / 黄は未使用としてください

※茶 / 白と茶 / 黒はステアリングスイッチの配線上ならどこで接続してもかまいませんが、**ステアリングスイッチから LAN ユニットへの配線は切断**されるようにしてください。

※ LAN ユニットの位置は、車種はグレードにより異なります。
お手数ですがディーラー様にてお尋ねください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

(C 型レガシィアウトバックの資料です)

- | | | |
|-------|---|---|
| 黒 | ⇒ | 車両アース (オーディオ裏 1 4 極カプラ 1 1 番) |
| 赤 | ⇒ | ACC 電源 (オーディオ裏 1 4 極カプラ 1 0 番) |
| 茶 / 白 | ⇒ | LAN ユニットの 4 番 (橙 / 白) を切断してステアリングスイッチ側に接続する |
| 茶 / 黒 | ⇒ | LAN ユニットの 7 番 (紫 / 白) を切断してステアリングスイッチ側に接続する |

20極カプラを採用している車種への接続

※ステアリングスイッチ SW1 及びステアリングスイッチ GND が他の機器（カーオーディオ／カーナビ等）に接続されている場合は本ユニットを接続しないでください。

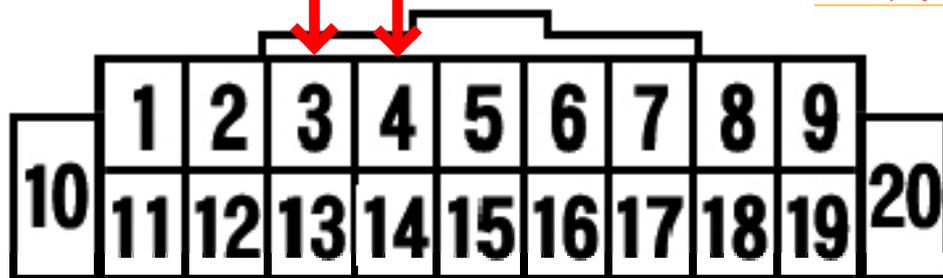
20 極コネクタ

+12V アクセサリー（ACC）電源

ユニット赤を接続

ステアリングスイッチ SW1

ユニット茶 / 白を接続



ユニット茶 / 黒を接続

ステアリングスイッチ GND

ユニット茶 / 黄を接続

ステアリングスイッチ SW2

車両アース

ユニット黒を接続

※車種により 11 番または 13 番のどちらか一方に接続します

※6 ボタンタイプのステアリングリモコンでは茶 / 黄を未接続としてください

※図は純正コネクタをコンタクト面から見た図です

※1 ボタン又は9 ボタンタイプのステリモでは茶 / 黄を 13 番に接続してください。

※電話・ボイスが分離されている8 ボタンタイプの MOP ナビ用ステリモは茶 / 黄を 11 番に接続してください。

※5 ボタン又は6 ボタンタイプのステリモでは茶 / 黄を未接続にしてください。接続するとナビが勝手に動作する等の不具合が発生します。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

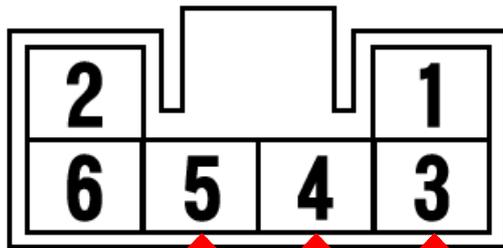
ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	3 番 +12V アクセサリー（ACC）電源
黒	⇒	10 番車両アース
茶 / 白	⇒	4 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	11 番又は 13 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	14 番ステアリングスイッチ GND

20極カプラと6極カプラを採用している車種への接続

■ 2010.7 ~の GVB/GVF インプレッサ等、3線式のステアリングスイッチを採用している車種は、カーナビ裏に6極コネクタがありますので、そのコネクタへ接続します。

※メーカーオプションナビ付き車のみ

カーナビ裏6極ステアリングスイッチコネクタ



純正配線色 (GVB/GVF)

3番	-	茶
4番	-	青 / 白
5番	-	黄

3番ステアリングスイッチ SW1
ユニット茶 / 白を接続

4番ステアリングスイッチ SW2
ユニット茶 / 黄を接続

5番ステアリングスイッチ GND
ユニット茶 / 黒を接続

※メーカーオプションナビ付き車のみ
6極コネクタが存在します。

※ユニットの電源線（赤・黒）は、カーナビ・カーオーディオのハーネスから分岐接続してください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	3番ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	4番ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	5番ステアリングスイッチ GND

2010.7～のインプレッサについて（型式 GVB/GVF）

■オーディオレス等で、ステアリングスイッチを後付けした場合はコラムカバー内のロールコネクタ部で結線してください。

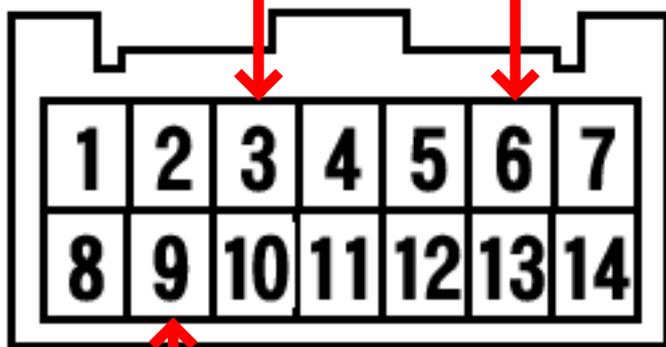
ロールコネクタ14極コネクタ

3番ステアリングスイッチ SW1

ユニット茶 / 白を接続

6番ステアリングスイッチ SW2

ユニット茶 / 黄を接続



9番ステアリングスイッチ GND

ユニット茶 / 黒を接続

純正配線色 (GVB/GVF)

3番	—	茶
6番	—	青 / 白
9番	—	黄

※ロールコネクタはエアバッグ配線等
もありますので間違えない様に接続
してください

※ユニットの電源線（赤・黒）は、カーナビ・カーオーディオのハーネスから分岐接続してください。

MEMO

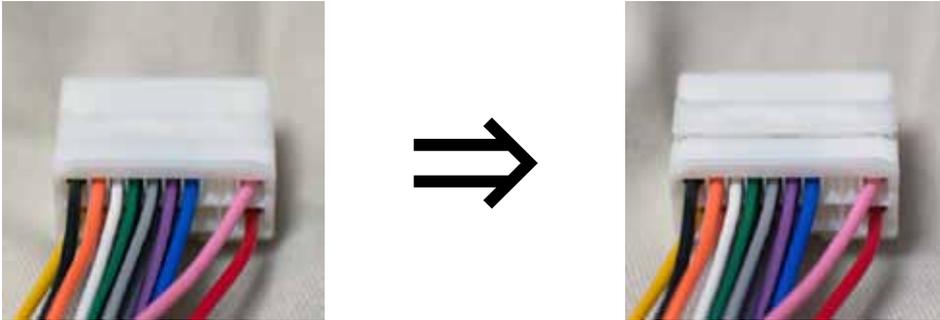
本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	3番ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	6番ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	9番ステアリングスイッチ GND

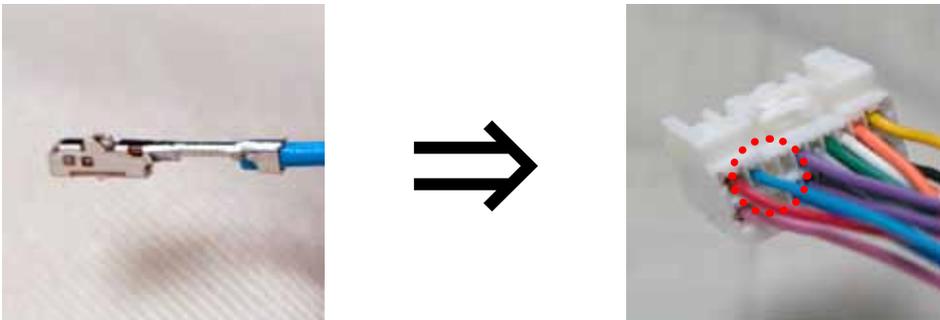
カーナビ側への配線接続 (ダイアトーンナビ以外の場合)

■端子付き配線は、カーナビのメインコネクタへ差し込みます。

1. コネクタの裏側にある「リテーナ」を画像のように少し浮かせます。



2. 上の列の左から2番目（赤の隣）へ端子を確実に差し込みます。



3. リテーナを元通り押し込みます。



4. ユニットの水線と端子付き配線を接続します。



MEMO

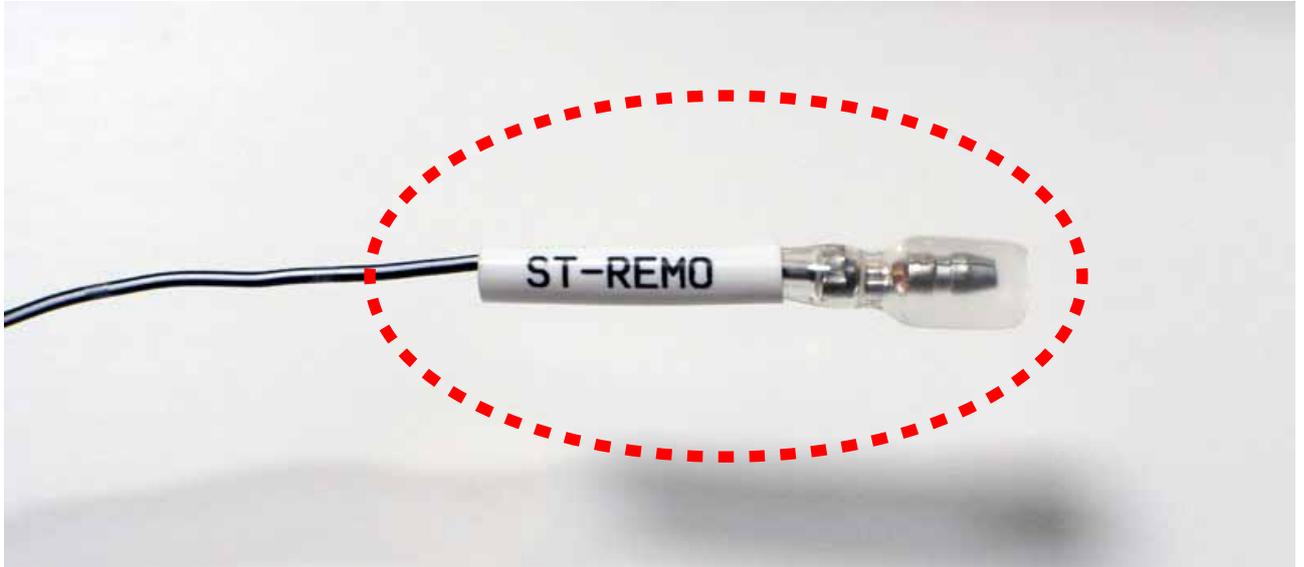
※リテーナを浮かさないで端子が挿入できません。

※端子は一度差し込むとロックされて抜くことができなくなりますので、差し込む位置を間違えない様にしてください。

カーナビ側への配線の接続 (ダイアトーンナビの場合)

■ メインハーネスの「ST-REMO」(黒/白) 線へ接続します

⇒ MZ200・MZ100 シリーズの場合はステアリングリモコン設定を「マツダ」に変更してください



1. 本製品の水色を、上図「ST-REMO」へ単独で接続します

※ 「ST-REMO」は本製品の水線に単独で接続してください

※ 「ST-REMO (G)」はアース線ですので、間違いないようにしてください

※ 付属の端子付き配線は使用しません

！注意！故障の原因となりますので、上図「ST-REMO」線以外の配線（アンテナリモート・アンプリモートなど）に接続しないでください。

MEMO

！注意！

故障の原因となりますので、「ST-REMO」線以外の端子や配線に本製品を接続しないでください！

設置後の確認

◇ユニット本体の配線が終わったら、全ての配線が正しく接続されていることを確認してください。確認したらキーを差し込み、**ステアリングスイッチを押さずにACC電源をON**にします。このとき、本体基板上の赤色LED点灯することを確認してください。

⇒赤色LEDが点灯しない場合は電源線（赤・黒）の確認を行ってください。

◇次ページを参照して設定作業を行います。その後、作動を確認してください。問題なければ、ユニット本体をカーナビ裏の配線の束等にビニールテープで固定してください。

本体LEDの点滅について

■本体のLEDの点滅・点灯は本体の状態、設定状態を示しています。

◇赤色LED

高速点滅 ⇒ イニシャライズ中

点灯 ⇒ 通常動作中

◇緑色LED（イニシャライズ中）

イニシャライズの点滅回数はスイッチの種類を示しています。

1回 ⇒ スバル3線式スイッチ（タイプA）

2回 ⇒ スバル2線式スイッチ（タイプB）

3回 ⇒ スバル3線式スイッチ（タイプC）

4回 ⇒ スバル3線式スイッチ（タイプD）

◇緑色LED（通常動作中）

消灯 ⇒ ステアリングスイッチが押されていない

点灯 ⇒ ステアリングスイッチが押された

MEMO

※固定する際にあまり強く巻きつけたりカーナビ本体と干渉する位置には取り付けないでください。ユニット内部の部品が破損したり変形してショートする危険があります。

※初期設定はスバル2線式スイッチなっています。

初期設定を行う

1

カーナビ・カーオーディオを**ラジオモードにして、音量をある程度上げておきます**。その後、イグニッションキーをOFFにします。



※ナビが操作不能になっている場合は、そのまま2へ進みます

2

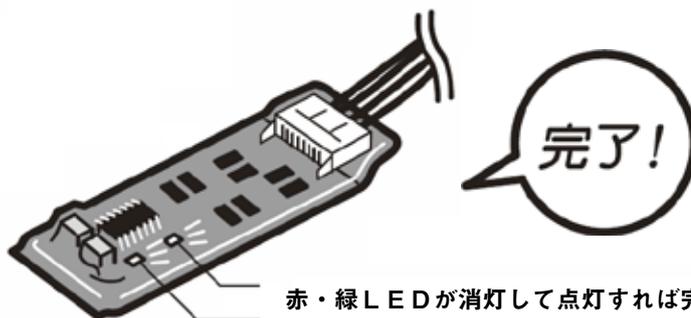
ステアリングスイッチの「**ボリュームダウン**」ボタンを押しながらキーをACCに廻します（プッシュスタート車の場合は、ブレーキを踏まずにスタートスイッチを押します）。



3

そのまま**ステアリングスイッチを押したまま**にしてください。ユニット本体の赤・緑LEDが一旦消灯し、しばらくして点灯すれば設定完了です。

※LEDが消灯⇒点灯と変化するまでステアリングスイッチを押し続けてください。消灯しない場合はやり直してください。



赤・緑LEDが消灯して点灯すれば完了です

トラブルシューティング

■ACCをONにしたときに赤・緑色LEDが点滅・点灯しない

電源線（赤、黒）の接続を確認してください。アース（黒線）をカーナビのボデー部で接続している場合は、カーナビの金具を固定しないとアースされない場合がありますので確認します。

■ACCをONにしたときに緑色LEDが点滅⇒点灯と変化する

初期設定を行ってください。初期設定を行っても改善しない場合は、ステアリングスイッチ入力線（茶 / 黒、茶 / 白、茶 / 黄 ※未使用の場合あり）の接続を確認してください。

■ステアリングスイッチが作動しない、ボタンの絵柄と異なる動作をする

初期設定を行ってください。初期設定を行っても改善しない場合は、下記項目を確認してください。

1. ステアリングスイッチを押すと緑色LEDが点灯する場合

⇒カーナビに水色線が接続されているかを確認します。

⇒MZ100・MZ200シリーズの場合はナビ側のステアリングリモコン設定が「マツダ」になっていることを確認します。

2. ステアリングスイッチを押しても緑色LEDが点灯しない場合

⇒ステアリングスイッチ入力線（茶 / 黒、茶 / 白、茶 / 黄 ※未使用の場合あり）の接続を確認してください。

3. ステアリングスイッチを押さなくても緑色LEDが点灯している場合

⇒ステアリングスイッチ入力線（茶 / 黒、茶 / 白、茶 / 黄 ※未使用の場合あり）の接続を確認してください。

4. ステアリングスイッチの一部ボタンが使えない

⇒ミュートやナビ系のスイッチが使用できない事がありますが、ナビ、オーディオの仕様によるもので正常動作です。

■カーナビが勝手に作動する

初期設定を行ってください。初期設定を行っても改善しない場合は、ステアリングスイッチ入力線（茶 / 黒、茶 / 白、茶 / 黄 ※未使用の場合あり）の接続を確認してください。

■本ユニットを接続すると、カーナビが操作できなくなる

初期設定を行ってください。初期設定前に「ラジオモードにして音量を上げておく」操作ができない場合は、そのまま設定を続行します。

※初期設定時にステアリングリモコンの判定が行われ、正常動作となります。

本書はお買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合に、次に記載する内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

<無料保証規定>

1. 正常な使用状態にも関わらず発生した故障は無料修理させていただきます。
2. 製品の故障による次の損害は保証の対象外となります。
 - ・製品の故障により発生した作業工賃や災害
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理とさせていただきます。
 - ・使用上の誤りや、不当な修理／改造による故障・損傷
 - ・火災・水害・落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害などによる故障・損傷
 - ・本書の添付がない場合、及び本書にお買い上げ店とお買い上げ日の記入がない場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行致しません

品番	GAP-SCVD677	
保証期間	お買い上げ日から 3 年間	
お買い上げ日	※納品書が購入証明となりますので、本書と一緒に大切に保管してください。	
お客様	ご住所	_____
	お名前	_____ 様
	電話 ()	_____
販売店	住所・店名	_____
	電話 ()	_____

株式会社 ガレイラ

<http://www.galleyra.co.jp>

〒 543-0021 大阪市天王寺区東高津町 3-20 エフズビル 702 電話 06-6131-6300